

令和6年度学校自己評価システムシート (県立浦和第一女子高等学校)

目指す学校像	世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った魅力あるリーダーを育成する女子高校
--------	--

重点目標	1 グローバルな視点で学びを支援し、自ら進路を切り拓く一女生を育成する。 2 部活動や学校行事などを通して、何事にも主体的に取り組む一女生を育成する。 3 外部連携を一層推進するとともに、一女の教育活動を積極的に発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者	名
生徒	名
事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	減	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>進路指導・学習指導については効果的に行われ成果を上げているが、さらなる向上を目指し対策を講じていく必要がある。</p> <p>また、一人一台端末の活用方法等の情報は共有されているが、活用した教員は8割強にとどまっている。さらに活用率を上げるとともに効果的な活用方法について研究を進めていく必要がある。</p> <p>国際交流・探究学習は大きく前進しているが、さらに充実させるための方策を検討していくことが必要である。</p>	①学びの転換を促し、生徒の力を最大限に引き出す指導を実践する。	a 一人一台端末を活用した授業の工夫を実践する。 b 予習→授業→復習の黄金サイクルの定着に向けた取組を行う。 c 指導方法、評価方法等について組織的に検討を進める。	ア 一人一台端末を活用した授業の工夫を行った教員100% イ タブレット活用事例の共有状況 ウ 生徒の自主学習の定着に向けた取組の状況 エ 生徒の自主学習の状況 オ 教科指導に関するアンケート項目の肯定的回答9割以上				
		②高い志と誇りを育み実現する組織的な進路指導に全校を挙げて取り組む。	a 本校の進路指導の在り方を全職員で共有する取組を実施する。 b 全校生徒に共に学ぶ集団意識を醸成する。 c 将来の社会貢献を見据えた高い志を育む進路行事を企画する。	ア 進路指導の在り方を共有する取組の実施状況 イ 共に学ぶ環境の設定状況 ウ 進路だより等による情報共有の状況 エ 生徒に高い志を育ませる取組の状況 オ 共通テスト5教科受験率の状況				
		③SDGsの実現に貢献する人材育成を目指す探究学習を実施する。	a 探究学習の充実に向け外部機関との連携を強化する。 b SSH活動を中心とするSTEAM教育を展開する。 c 海外派遣・受入事業を実施する(SGH)	ア 探究学習の充実に向けた外部機関との連携状況 イ SSHに関するアンケート項目の肯定的回答9割程度 ウ 理系進学状況 エ 国際交流の実施状況 オ 国際交流等に関するアンケート項目の肯定的回答9割程度				
2	<p>部活動や学校行事等はそれぞれ活発に行われ高く評価されているが、この取組をより高めていくことが肝要である。</p> <p>相談生徒数は減少しているが、悩みを抱える生徒も一定数存在する。「個別の保健指導の進め方」に則り、スクールカウンセラーと連携したきめ細やかな教育相談体制を今後も整えていく必要がある。</p>	①生徒主体の部活動や学校行事を活性化し公開する。	a 生徒が意欲をもって活動できる部活動を行う。 b 生徒が主体的に活動できる学校行事を行い公開する。	ア 部活動・学校行事に関するアンケート項目の肯定的回答9割以上 イ 学校行事の実施状況、公開実施状況				
		②組織的・機能的な教育相談体制を整備する。	a スクールカウンセラーとの連携を組織的に行う b 面談・観察を通じての生徒把握と教職員間での情報共有を行う。	ア スクールカウンセラーの活用状況 イ 面談の実施状況 ウ 支援を必要とする生徒の情報の組織的共有状況				
3	<p>HP、Classroom、一斉メール等を活用し、効果的な情報発信が行われ高く評価いただいているが、発信をより高めていくことが重要である。</p> <p>学校説明会などを通じての情報発信も充実しているが、さらなる向上が肝要である。</p> <p>外部機関との連携は広範囲に行われているが、精選し重点化していくことも必要である。</p>	①ニーズに応え、有益で質の高い情報発信を継続して行う。	a 全教職員でHPの更新を行う。 b 一斉メール配信による保護者への情報発信を増強する。 c 学校の魅力が伝わり満足度の高い学校説明会に向け一層工夫する。 d 外部の説明会・相談会等へ積極的に参加する。	ア HPのアクセス回数70万回以上、更新回数300回以上 イ 一斉メールを用いた情報発信の状況 ウ 学校説明会の実施状況 エ 外部の説明会等への参加状況				
		②外部との連携を見直し強化する。	a 地域や外部機関との連携を精選・重点化し進める。 b 麗風セミナー等のOGとの連携行事について、生徒の意識向上のために一層の工夫を行う。	ア 外部機関と連携した行事の実施状況 イ OGを活用した行事の状況				